

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 5 区分

【発行日】平成20年4月10日 (2008.4.10)

【公開番号】特開2006-104648(P2006-104648A)

【公開日】平成18年4月20日 (2006.4.20)

【年通号数】公開・登録公報2006-016

【出願番号】特願2005-259181(P2005-259181)

【国際特許分類】

D 0 6 M 15/53 (2006.01)

D 0 6 M 13/02 (2006.01)

D 0 6 M 13/144 (2006.01)

D 0 6 M 13/165 (2006.01)

D 0 6 M 13/184 (2006.01)

D 0 6 M 13/224 (2006.01)

D 0 6 M 15/643 (2006.01)

【 F I 】

D 0 6 M 15/53

D 0 6 M 13/02

D 0 6 M 13/144

D 0 6 M 13/165

D 0 6 M 13/184

D 0 6 M 13/224

D 0 6 M 15/643

【手続補正書】

【提出日】平成20年2月21日 (2008.2.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

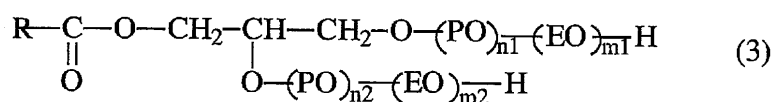
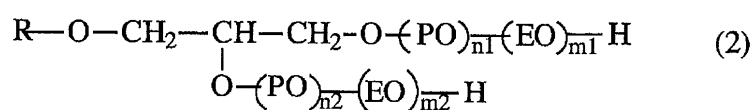
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

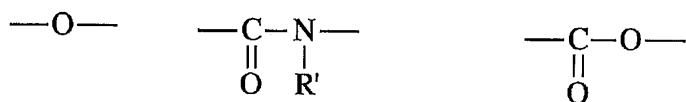
下記一般式 (1) 又は (2) 又は (3) で表される化合物 (a) を含有するしわ除去組成物。

【化 1】



〔式中、Rは炭素数10～22の炭化水素基であり、EOはC₂H₄Oを示し、POはC₃H₆Oを示し、m及びnはそれぞれ平均付加モル数を示し、mは3～100、nは1～10の数であり、(PO)と(EO)は、ランダム付加でもブロック付加でもよく、(PO)と(EO)の付加順序は問わない。m₁及びm₂は平均付加モル数を示し、m₁とm₂の合計が3～100になる数であり、n₁及びn₂は平均付加モル数を示し、n₁とn₂の合計が1～10になる数であり、(PO)と(EO)は、ランダム付加でもブロック付加でもよく、(PO)と(EO)の付加順序は問わない。Yは

【化2】



のいずれかであり、R'は水素原子又は炭素数1～3の炭化水素基である。〕

【請求項2】

化合物(a)が、一般式(1)及び(2)中のRが炭素数12～18のアルキル基、m又はm₁ + m₂が3～60の数、n又はn₁ + n₂が1～8の数の化合物である請求項1記載のしわ除去組成物。

【請求項3】

化合物(a)が、一般式(1)及び(2)中のRが炭素数16～18のアルキル基、m又はm₁ + m₂が3～60の数、n又はn₁ + n₂が1～3の数である請求項1記載のしわ除去組成物。

【請求項4】

化合物(a)が、一般式(1)及び(2)中のモル比m/n又は(m₁ + m₂)/(n₁ + n₂)が4～12である化合物である請求項1～3の何れか1項記載のしわ除去組成物。

【請求項5】

化合物(a)を0.1～5重量%含有する請求項1～4の何れか1項記載のしわ除去組成物。

【請求項6】

油性化合物(b)を含有する請求項1～5の何れか1項記載のしわ除去組成物。

【請求項7】

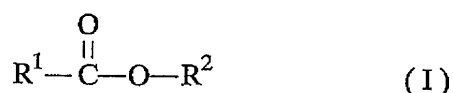
油性化合物(b)が、下記(b1)～(b7)から選ばれる少なくとも1種の油性化合物である請求項6記載のしわ除去組成物。

(b1) 平均分子量100～500の飽和又は不飽和の直鎖もしくは分岐鎖炭化水素

(b2) 平均分子量100～300の1級又は2級アルコール

(b3) 下記式(I)又は(II)で表されるエステル化合物又はエーテル化合物

【化3】



(式中、R¹は炭素数8～20の飽和又は不飽和の直鎖もしくは分岐鎖の1価炭化水素基、R²は炭素数1～20の飽和又は不飽和の直鎖もしくは分岐鎖の1価炭化水素基、R³及びR⁴は、それぞれ独立に炭素数4～18の飽和又は不飽和の直鎖もしくは分岐鎖の1価炭化水素基を示す。)

(b4) 平均分子量100～500の脂肪酸

(b5) 炭素数 12 ~ 24 の脂肪酸のトリ、ジ又はモノグリセライド

(b6) スクアラン

(b7) コレステロール

【請求項 8】

乳化剤 (c) 及び水を含有する請求項 1 ~ 7 の何れか 1 項記載のしわ除去組成物。

【請求項 9】

乳化剤 (c) が、HLB (グリフィン法) が 4.0 ~ 15.0 の非イオン界面活性剤、炭素数 10 ~ 16 の 1 価炭化水素基を 1 ~ 3 個有する陽イオン界面活性剤、炭素数 6 ~ 14 の 1 価炭化水素基を有する陰イオン界面活性剤から選ばれる少なくとも 1 種である請求項 8 記載のしわ除去組成物。

【請求項 10】

更に、シリコン化合物 (d) を含有する請求項 1 ~ 9 の何れか 1 項記載のしわ除去組成物。

【請求項 11】

請求項 1 ~ 10 の何れか 1 項記載のしわ除去組成物を、繊維製品に付与する、繊維製品のしわ除去方法。

【請求項 12】

熱処理を行わない請求項 11 記載のしわ除去方法。

【請求項 13】

請求項 1 ~ 10 の何れか 1 項記載の組成物を繊維製品のしわ除去に用いる用途。

【請求項 14】

下記一般式 (1') で表される化合物を含有するしわ除去組成物。



[式中、R は炭素数 10 ~ 22 の炭化水素基であり、EO は C_2H_4O を示し、PO は C_3H_6O を示し、m 及び n はそれぞれ平均付加モル数を示し、m は 3 ~ 100、n は 1 ~ 10 の数であり、(PO) と (EO) は、ランダム付加でもブロック付加でもよく、(PO) と (EO) の付加順序は問わない。]